

意見交換した（左から）小島教授、アミール助教、五月女准教授



# 放射線正しく読解を

## 公開講座 福島医大教授ら解説

環境省が全国の大学生らを対象に展開しているセミナー「ラジエーションカレッジ」の公開講座が17日、福島市の福島医大福島駅前キャンパスで開かれ、同大の教授らが参加者に放射線に関する正しい情報の読み解き方を伝えた。

講座は、放射線に関する正確な情報を発信する同省の事業「はぐくむプロジェクト」の一環として開かれた。

同大医学部の小島祥敬教授とアミール偉助教、同大保健科学部の五月女康作准教授ら5人が登壇し「安

全ということを伝えるのは難しい件」の題で放射線の健康影響を巡る科学的な情報を読み解く力の重要性について意見交換をした。

小島教授とアミール助教は科学論文が真実とは限らないと指摘。小島教授は「放射線が健康に影響したという論文の印象が強すぎるため、反論の論文が知られていないことが大きな問題だ」、アミール助教は「全ての情報をうのみにせず、吟味することが必要だ」と話した。

五月女准教授は「はぐくむプロジェクトに参加し、放射線に対する考え方が変わった学生を例に「新しい情報を受け入れることが大切。データと学びの場を与

えることはセットでやって話した。いかなければならない」と

講座は後日、はぐくむプロジェクトで公開される。

プロジェクトのホームページなどで公開される。